

教育環境の改善にどう貢献しているか

教師の負担軽減を行い、 もっと子どもに寄り添う余裕を

- 校務支援システム導入提言（H27）**実現**
出席簿や成績表など手集計であったため導入を提言しました。教師の多忙化が問題視される中、事務作業の効率化に寄与しました。

- さらなる教師の負担軽減を（H30）
徴収業務の公会計化や部活の講師派遣の導入につながりそうです。

前向き検討中



小・中学生の荷物過重問題 （H29,30）

- 子ども達からの訴えを29年9月議会で提言。
多くのメディアで取り上げて頂いた結果、文科省が「置き勉」認める通知に**実現**

「脱ゆとり」教育の影響で教科書のページ数増と大型化により、以前と比較すると重さが約4割増加している例も。流山市は「置き勉」を含め、学校毎に適切な対応を実施することになりました。



学校の大規模化に伴う 教育の質低下の防止にむけて

- 過大規模化する学校運営の課題分析と対策を調査・提言（H30）**前向き対応中**

会派で専門家呼び勉強会を主催して課題整理、下記提言を実施、市と切磋琢磨しました。

①小学校はクラス担任制のため、1クラスの人数が増えなければ質低下はない②1クラスの人数が増えても副担任を設置することで質低下が防止できる③なべ蓋組織からライン組織への転換を行うことでトラブル対応力の向上が見込める④規模が大きいと経験、教科、特性、特別支援の専門性などの面で、多様でバランスのとれた教職員配置を行いやすい等、大規模のメリットを整理し活かす方法を考える等。

家庭で差が出やすいからこそ 義務教育でICT教育の推進を（H30）



ICT導入によって教師の負荷軽減は勿論のこと、1人1人に寄り添う学習の可能性が広がる下記両輪の活用が期待されます。**前向き検討中**

1. 子どもの興味関心を軸として学力を伸ばすこと
2. 特別な配慮が必要な子どもの個別支援を手厚く

子どもにやさしい
まちは
みんなにやさしい

流山市議会議員 無所属

近藤みほ 通信簿

討議資料

Vol.
14

Webでも情報発信中

<http://mihokondoh.net/>



H30.11.27 公民連携で都市公園を「稼ぐ公園」へというイベントに参加し、尊敬する木下斉氏、所属会派で大変お世話になった無所属の石原修治議員と共に

ご挨拶

皆様、めっきり寒くなってきましたが、いかがお過ごしですか。
私は残す任期が数カ月となりましたが、これまで訴えてきた政策の進捗を確認しながら、平成32年度から10年間の大方針が決まる新総合計画への位置付けを目標に活動を活発化しています。今会報ではこの4年間の議員活動で重要視してきた点や、実現出来たこと・出来なかったこと（通信簿）について報告いたします。

議員の仕事は、住民の皆様々に代わって政策提言を行い、より良い流山にするための仕組みづくりに貢献することです。是非ご関心をお寄せ頂き、議員にお声を届けて頂けると幸いです。

女性政策・行政改革にどう貢献しているか

- リモートワーク推進（H29）**一部実現**

通勤は体力も時間も消耗します。ベッドタウンの流山だからこそ、女性のみならず、障害者の方を含め、老若男女、全ての方に多様な働き方を提供出来、有意義だと訴えました。

- 女性管理職の育成に向けて（H29）**前向き対応中**

- オープンデータ推進（H27）**苦戦**

- 窓口業務効率化（H29）**実現**

おおたかの森市民窓口センターの民間委託が実現

- 対話型人口知能による窓口サービス導入（H29）

保育園入園の問い合わせ対応や、入園先のマッチングについて利用研究をもとめました。**前向き対応中**

サポートをお願いいたします

まちづくり 政策ラボ

まちづくり政策ラボを開催しています

2、3人からの集まりに出張し、近藤が調査したこと、市に提言したことなど、近藤の考えをお伝えします。皆様との対話から市に提言すべきことを考えていきます。議員は市民と行政のパイプ役、ワンストップ窓口係です。お気軽にご連絡ください。

ご相談＆問い合わせ先：info@mihokondoh.net



近藤みほ略歴

茨城県潮来市生まれ。東京都立大学大学院 建築学卒。
2児（10歳と8歳）の母。大学時代にコンピューターの面白さに出会い、都内のITエンジニアリングコンサル会社に就職。本格的に働き始めたら地域にお世話になるからと、第二子の育児休業中にボランティアに従事。地域には様々な課題があることを知り、本腰をいれて向き合いたいと立候補。H27年5月流山市議会初当選。

カンパ

政治活動は皆様からのご寄付によって支えられています。真面目に活動すればするほど資金が必要となるのも事実です。ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【郵便局】

記号：10500 番号：20396301

口座名：mama's選挙ラボ（ママズセンキョラボ）

【銀行から振り込む場合】

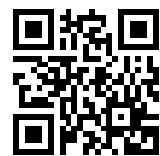
銀行名：ゆうちょ銀行

店番号：058（普）2039630

口座名：mama's選挙ラボ（ママズセンキョラボ）

※年間5万円を超えるご寄付は収支報告書に氏名が記載されます。

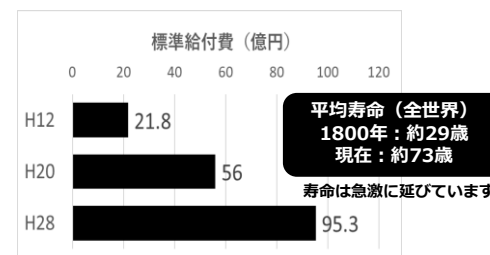
詳細な活動についてはHPへ



4年間の議員活動で重要視してきた点

●限られた財源を有効に

全国稀に見る人口増を実現した流山市ですが、児童急増により保育園や教育関連の財源が必要である一方、2025年には団塊世代が75歳になるなど（2015年度人口比は約1.73倍）高齢化に伴う扶助費も増えます。子どもと高齢者が多い本市は、やりたいことを全部やるほど豊富な財源はございません。**生活をしっかり守るため、民間サービスの導入を検討し、少ない予算でも効果が上がる取組を提言することが重要だと考えます。**



●未来への希望を

人口急減、少子高齢化等、日本は課題山積です。これから子ども達に必要なのは、**自分なりの幸せを自分で見出していける力**であり、それは幼少期に積み重ねながら育むものです。**希望をもって未来を担う子ども達を流山市からしっかり育てていく**、そのために大人の都合だけで考えず、子ども達や若者と向き合い、必要な保育・教育環境の改善を提言しています。

近藤は一度も欠かすことなく一般質問を行っています。議会での提言動画はこちら



●現場目線と是々非々

ご連絡を頂きご相談を受けたり、駅のコンシェルジュ活動など、**現場の声を大切に**しています。個人の利益誘導は出来ませんが、個別課題を掘り下げることによって全体の利益に貢献する政策提言につながる場合も多々あります。より良い流山市にしていけるために、市が予算案を策定し議会が認めるという関係の中で、市と議会が常に切磋琢磨していますが、**方向性が一致する時は、市の政策を後押しする是々非々が議員の重要な姿勢**だと考えます。



流山市に転入されてきた子育て世帯の方々と、流山市の子育て・まちづくりについて意見交換

実績なしでは申し訳ないので、1期目からアクセル全開！！一般質問を通して、市から『情報を引き出す・提言する』を繰り返す中で、発言力を積み上げたいという思いで取り組んできました。

一般質問からは、特に子育て・教育・まちづくり・女性・行政改革分野の改善に貢献しました。

「まちづくり」にどう貢献しているか

平成27年5月 当選直後 難しい問題に直面



おおたかの森駅前にパチンコ店の建設が予定され問題に。

「母になるなら、流山市。」を掲げる流山市が思い描いてきた街の姿との乖離を指摘。

流山おおたかの森駅周辺が商業地域は、賑わい創出の観点から戸建て住戸のみの建築を制限してきましたが、商業地域とはいえマンション等も多いことから、住環境悪化防止のため、今後はパチンコ店なども建設出来ないよう制限を設けることに。

おおたかの森駅周辺は今後も
パチンコ店などは建設出来ません。

人口の減りにくい街にむけて 景観まちづくりを提言

日本は未曾有の人口減少時代を迎えます。いつまでも活気がある流山市であるために、美しい景観を創り・守っていく重要性を提言。

H27 デザインコード導入推進

H29、30 屋外広告物条例導入推進、

事業者にメリットになるよう優れた景観の表彰を要望。

●**実現** 広告物条例が制定されました！

看板 デザイン調整

【良例を推進していきます】

トレードマークの黄色が無彩色に

植栽の緑が映え、安全バーが目立つように

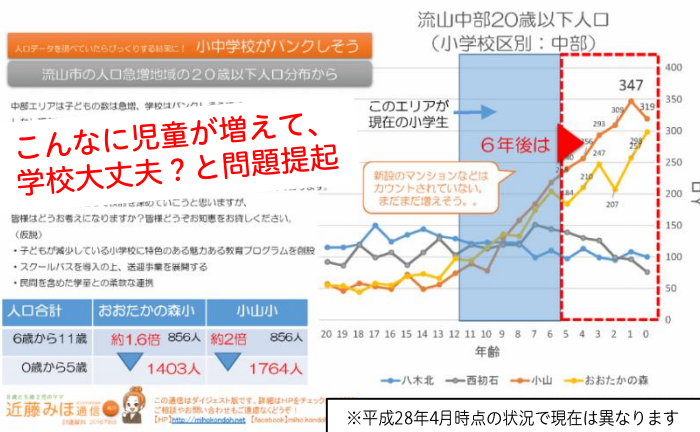


ごちゃごちゃしていて
美しい景観とは言えない

自ら手を動かし、提言できる
議員が求められています。

平成28年9月 自ら児童 推計を算出し、課題提起。

小学校区単位の児童数を算出。
6年後、学校の許容量を上回る学校区があることが判明、推計の甘さを厳しく指摘。



市面積の1/5に及ぶ開発が行われており、変動要因が大きいにも関わらず、学校施設建設の根拠になる児童数を3年先までしか推計していないことが分かりました。①児童人口を6年先まで予測すること②統合型GISを導入し住民数を小まめに点検できる体制とすること③積極的な情報公開を行い説明責任を果たすようにすることを提言、実現しました。他議員のご理解・ご協力もあり、新設中学校の建設につながっています。

その他

●NPO市民活動推進（H30）

- ・コミュニティコーディネーター設置
- ・市民活動公益事業補助金制度の再構築

もう少し

●マンションまちづくり（H27～H29）

- ・子育てに優しいマンション認定制度推進
 - ・みなし自治会制度導入／地域連絡調整員導入
- ⇒地域で連携して助け合いのコミュニティ
育成に向けた方策を研究、提言していきます。

●**実現**

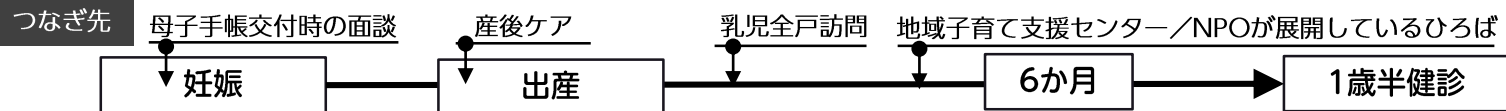
●**苦戦**

「日本一、子育てしやすい街に」向けてどう貢献しているか

H27～H30 妊娠期からの切れ目のない支援は、各機能の拡充と、適時適切な連携を実現すべきと訴え、多くが前進！！

計13回（全16回）
一般質問で
取り上げました

流山市は子育て世代が急増していますが、頼れる方がおらず孤独な子育てをされる方もいます。愛着形成が育まれる大切な乳幼児期をサポートするための子育て世代包括支援の仕組み構築を目指し、子育て支援機能の充実と連携強化について多くの提言を行いました。



●母子手帳交付時の面談強化を（H29）

面談実施率 H27(約3%)⇒H29(約3割強)

●**実現**

出産後4か月までにお宅に訪問する乳児全戸訪問事業では、子育てに困難を感じていた方（要支援者）が3割を越えていたことから母子手帳交付時の面談を強化、**要支援者を早期に支援することが可能**になりました。平成30年4月からは、おおたかの森市民窓口センターでも相談を開始します。

●子育て支援者を増やし、質を上げる

ための研修制度の導入を（H27）

●**実現**

地域みんなで子どもを育むまちにするために、多くの方に子育て支援に関する知識を持って頂きたく、ボランティアをされたい方向けの研修実施を求め、研修が導入されました。H28は58名、H29は47名、H30は56名が受講され、多くの子育て支援員が誕生しています。

●電子カルテシステムの導入を（H30）**前向き研究中**

点在している子育て施設間で連携して支援するために電子カルテシステムの導入を訴えました。市は前向き研究中です。

●きょうだいがいても安心して通える児童館

併設の子育て支援センターの設置を（H29）

●**実現**

訴えの積み重ねにより、南流山と流山おおたかの森に児童館設置の方向です。施設の詳細は3月議会で審議されます。**念願の第一歩！**

学童クラブの質の確保に むけて（H28～H30）

児童急増に伴う質の低下を防止するための具体的提案を行いました。子ども達が楽しい放課後を過ごせるよう今後も力を抜きません。

H28～H29 学童ガイドライン策定要望

●**実現**

H29 過大規模の学童について問題提起

H30 質評価のための具体的指標を基に自己評価と保護者アンケート項目の作成、経営層を含めた研修強化

実現の方向

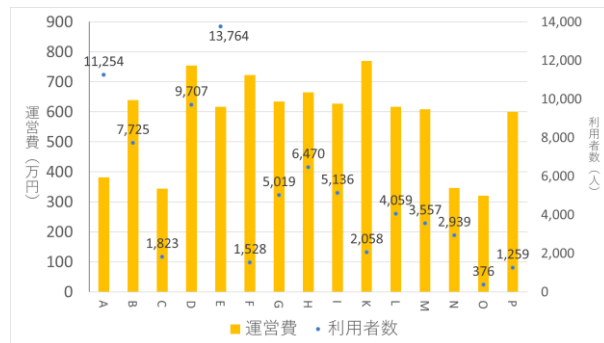
民間学童への助成を （H28～H30）

民間学童
高すぎる！

立地やお迎え時間など、多様な家庭のニーズに対応するため、民間学童への助成を訴えましたが実現せず。一緒に声をあげてほしい！

●**大苦戦**

公設学童には、児童一人あたり月約2万円の税金が補てんされている一方で、民間学童への補てんはないため、月謝は5万円を超えます。小規模で多様なニーズを吸収できる可能性を持つ民間学童への助成を引き続き訴えています。



●幼稚園の預かり保育料補助を（H29）**苦戦**

市は認定こども園への移行や保育園相当の開園条件が優先とし、実現しませんでした。待機児童対策としても有効なので引き続き訴えていきます。

●多子世帯へのファミリーサポート助成を（H29）

就学前の児童を3人以上養育している **一部実現**
ご家庭に1/2利用料助成が実現しました。